

島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(ブローアウトパネル関連設備の設計方針)

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別, 目録番号	図書名称	該当頁					
1	—	—	設置変更許可 審査からの 申送り事項 No.166	島根原子力発電所2号炉 重大事故等対処設備につ いて 補足説明資料(59条)	59条-14- 1,2	(まとめ資料での当社の記載) 設置変更許可段階においてダンパを採用す ること等を説明しているブローアウトパネル 閉止装置について、加振試験等の詳細設計 の結果について説明する。	今回回答 ブローアウトパネル閉止装置については、基準地震動Ssによる地震力が作用し た後においても、作動性及び原子炉建物原子炉棟を負圧に維持できる気密性を 保持可能なことを確認するため、加振試験、開閉操作試験及び気密性能試験を 実施し、機能を満足することを確認しました。	NS2-添1-029改01「VI-1-1-7-別添4 ブ ローアウトパネル関連設備の設計方針」 NS2-補-020 改04「工事計画に係る補足 説明資料(安全設備及び重大事故等対 処設備が使用される条件の下における健 全性に関する説明書)」資料No.4		

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別, 目録番号	図書名称	該当頁					
2	2022/1/25	NS2-補-020 改01	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.130	表5-3における加振試験前の名称について、添付資料側の名称を踏まえて検討すること。	今回回答	補足説明資料4-19「ブローアウトパネル閉止装置の機能確認試験結果について」のうち、表5-2及び表5-3の記載について、添付資料中の表7-6と語句表現を統一しました。	NS2-補-020改04「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」資料No.4のP.4-19-8, 10(通し頁P.129, 131)	
3	2022/1/25	NS2-補-020 改01	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	—	BOP閉止装置の手动操作について、操作時間の観点から踏まえて説明すること。	今回回答	補足説明資料4-21「ブローアウトパネル関連設備の先行電力との差異について」の6.1(3)項にて、手动操作時間についての説明を追記しました。	NS2-補-020改04「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」資料No.4のP.4-21-7, 8(通し頁P.140, 141)	
4	2022/1/25	NS2-補-020 改01	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.141,142	加振後の気密性能試験について、加圧による試験方式を採用した理由を説明すること。	今回回答	補足説明資料4-21「ブローアウトパネル関連設備の先行電力との差異について」の7.1(6)項にて、試験手順として準じている「JIS A 1516(建具の気密性試験方法)」に図示されている試験構成が加圧式であることに気づいたことが理由である旨を追記しました。	NS2-補-020改04「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」資料No.4のP.4-21-11(通し頁P.144)	
5	2022/1/25	NS2-補-020 改01	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.117	「負圧試験」の記載について検討すること。	今回回答	補足説明資料4-18「ブローアウトパネル閉止装置の機能確認試験要領について」のうち、5.2項の記載で「負圧」と記載していた箇所を「加圧」または「差圧」に修正しました。	NS2-補-020改04「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」資料No.4のP.4-18-19, 20(通し頁P.118,119)	
6	2022/1/25	NS2-補-020 改01	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.142	BOP強制開放装置の作動方式について、手动方式を採用した理由を説明すること。	今回回答	補足説明資料4-21「ブローアウトパネル関連設備の先行電力との差異について」の8.1(1)項に強制開放装置の設置目的および手动方式とした理由を追記しました。	NS2-補-020改04「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」資料No.4のP.4-21-12(通し頁P.145)	
7	2022/1/25	NS2-補-020 改01	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.131	BOP強制開放装置において、常設設備と現場で接続する設備について、現場操作の内容を踏まえて記載を検討すること。	今回回答	補足説明資料4-20「原子炉建物燃料取替階ブローアウトパネル強制開放装置(自主対策設備)の配置と構造について」の2. 項にBOP強制開放装置の設置、操作方法を追記し、図2-2を修正しました。	NS2-補-020改04「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」資料No.4のP.4-20-1, 2(通し頁P.132, 133)	

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別、 目録番号	図書名称	該当頁					
8	2022/1/25	NS2-添1-029(比)	比較表(VI-1-1-7-別添4)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-1-7-別添4)ブローアウトパネル関連設備の設計方針)	P.5	MSTンネル室BOPの地震動に対する設計について、要求機能を踏まえて記載を検討すること。	今回回答	技術基準規則上の要求事項としては、MSTンネル室BOPの二次格バウンダリとして弾性設計用地震動Sdで開放しないこととなるため、記載を修正しました。	NS2-添1-029改01「VI-1-1-7-別添4 ブローアウトパネル関連設備の設計方針」P.3,11 NS2-補-020改04「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」資料No.4のP.4-10-2(通し頁P.46)	
9	2022/1/25	NS2-添1-029(比)	比較表(VI-1-1-7-別添4)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-1-7-別添4)ブローアウトパネル関連設備の設計方針)	P.3	BOP閉止装置の羽根の閉止操作について、手動操作の記載を検討すること。	今回回答	手動操作に関して追記しました。	NS2-添1-029改01「VI-1-1-7-別添4 ブローアウトパネル関連設備の設計方針」P.2	
10	2022/1/25	NS2-補-020改01	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.91	オペフロBOP及びMSTンネル室BOPにおける設計差圧の上限について、設定根拠の記載を検討すること。	今回回答	補足説明資料4-2「ブローアウトパネルの配置と構造について」に格納容器設計圧力を超えないこと及び弾性用地震動Sdでは開放しないこと等を考慮した開放圧力である旨を追記しました。	NS2-補-020改04「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」資料No.4のP.4-2-2, 7(通し頁P.11, 16)	
11	2022/1/25	NS2-添1-029(比)	比較表(VI-1-1-7-別添4)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-1-7-別添4)ブローアウトパネル関連設備の設計方針)	P.8	オペフロBOPの落下防止チェーンと竜巻防護ネットの関係性について記載を検討すること。	今回回答	オペフロBOPの落下防止チェーンと竜巻防護ネットの関係性について記載を修正しました。	NS2-添1-029改01「VI-1-1-7-別添4 ブローアウトパネル関連設備の設計方針」P.6	
12	2022/1/25	NS2-他-032	適正化リスト	島根原子力発電所第2号機 工認記載適正化箇所(ブローアウトパネル関連設備の設計方針)	No.5	MSTンネル室BOP詳細設計条件の地震荷重について、床応答スペクトルを踏まえた数値に適正化した理由の拡充を検討すること。	今回回答	適正化理由について内容を具体化し記載を修正しました。	NS2-他-053「島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(ブローアウトパネル関連設備の設計方針)」P.5 No.5	
13	2022/1/25	NS2-添1-029(比)	比較表(VI-1-1-7-別添4)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-1-7-別添4)ブローアウトパネル関連設備の設計方針)	P.10	BOP開放時における飛来物の対策について記載を検討すること。	今回回答	BOP閉止装置は屋内設置であり、屋外に設置されている竜巻防護ネットにより設計飛来物の衝突が防止可能な設計であることから、その旨の記載を追記しました。	NS2-添1-029改01「VI-1-1-7-別添4 ブローアウトパネル関連設備の設計方針」P.9	
14	2022/1/25	NS2-添1-029	施設共通説明書(VI-1-1-7-別添4)	VI-1-1-7-別添4 ブローアウトパネル関連設備の設計方針	P.30	表7-3について、説明図の全体図化及びBOP閉止装置の個数の表し方を踏まえて記載を検討すること。	今回回答	表7-3について、現場取付時の全体図及び個数の表現方法について修正しました。	NS2-添1-029改01「VI-1-1-7-別添4 ブローアウトパネル関連設備の設計方針」P.30, 35	

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別、 目録番号	図書名称	該当頁					
15	2022/1/25	NS2-他-032	適正化リスト	島根原子力発電所第2号機 工認記載適正化箇所(ブローアウトパネル関連設備の設計方針)	No.9	表7-4における加速度の数値の適正化理由の拡充を検討すること。	今回回答	適正化理由について内容を具体化し記載を修正しました。	NS2-他-053「島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(ブローアウトパネル関連設備の設計方針)」P.6 No.9	
16	2022/1/25	NS2-補-020改01	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.12,33,34	オペフロBOPのクリップ個数の設定根拠について、新規制前後の設計変更及びクリップ試験の結果を踏まえて記載を検討すること。	今回回答	補足説明資料4-4「ブローアウトパネルの開放機能を担保する設計条件について」の1.(4)項にクリップ仕様、個数の選定根拠を追記しました。	NS2-補-020改04「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」資料No.4のP.4-4-1, 2(通し頁P.34,35)	
17	2022/1/25	NS2-補-020改01	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.43	オペフロBOPが屋根スラブと接地しない設計としていることについて、記載の拡充を検討すること。	今回回答	補足説明資料4-9「原子炉建物燃料取替階ブローアウトパネル開放時の他設備への影響について」1.項のオペフロBOP開放時に屋根スラブへ接地しない設計について記載を修正しました。	NS2-補-020改04「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」資料No.4のP.4-9-1(通し頁P.44)	
18	2022/1/25	NS2-補-020改01	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.43	図1-1について、屋根スラブの記載を検討すること。	今回回答	補足説明資料4-9「原子炉建物燃料取替階ブローアウトパネル開放時の他設備への影響について」の図1-1に屋根スラブ位置を追記しました。	NS2-補-020改04「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」資料No.4のP.4-9-1(通し頁P.44)	
19	2022/1/25	NS2-添1-029(比)	比較表(VI-1-1-7-別添4)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-1-7-別添4ブローアウトパネル関連設備の設計方針)	P.17	先行プラントとの相違理由について、島根2号機のオペフロBOPにシール材がない理由の拡充を検討すること。	今回回答	シール材がない理由(水切り板を設置)を追記しました。	NS2-添1-029(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-1-7-別添4ブローアウトパネル関連設備の設計方針)」P.18	
20	2022/1/25	NS2-添1-029(比)	比較表(VI-1-1-7-別添4)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-1-7-別添4ブローアウトパネル関連設備の設計方針)	P.36	試験方法(加振試験、気密試験)の相違理由について、先行プラントの試験方法との同等性を示す記載を検討すること。	今回回答	補足説明資料4-21「ブローアウトパネル関連設備の先行電力との差異について」の7.1.(3)項及び(6)項にて、単軸加振及び加圧式の気密試験としても先行プラントと同等の試験となっている旨を追記しました。	NS2-補-020改04「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」資料No.4のP.4-21-10, 11(通し頁P.143,144)	
21	2022/1/25	NS2-補-020改01	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	-	BOP閉止装置の加振試験について、単体による試験の妥当性を実際の設置状況を踏まえて説明すること。	今回回答	現場設置時に2連ダンバ及び3連ダンバを取付ける取付架台を含めた全体構造としては、剛構造で設計していることから、加振試験体としては2連ダンバ及び3連ダンバそれぞれ単体で実施した旨を追記しました。	NS2-添1-029改01「VI-1-1-7-別添4ブローアウトパネル関連設備の設計方針」P.32	

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別、 目録番号	図書名称	該当頁					
22	2022/1/25	NS2-補-020 改01	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.128	BOP閉止装置の加振試験後の気密試験の結果において、2連ダンバと3連ダンバでの違い及び加振試験前後の違いについて、ダンバの構造を踏まえて説明すること。	今回回答	補足説明資料4-19「ブローアウトパネル閉止装置の機能確認試験結果について」のうち5.1項にて、漏えい量のばらつきはシール方法による許容範囲内のばらつきであり、加振の影響によるものではなく問題ない旨を追記しました。	NS2-補-020改04「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」資料No.4のP.4-19-8, 9(通し頁P.129, 130)	
23	2022/1/25	NS2-添1-029(比)	比較表(VI-1-1-7-別添4)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-1-7-別添4ブローアウトパネル関連設備の設計方針)	P.41	表7-8について、先行プラントとの相違理由の記載を検討すること。	今回回答	島根2号機の他の設備と同様に水平方向及び鉛直方向に対して機能確認済加速度を設定することとし、X,Y方向の加振実績最小値から水平方向機能確認済加速度を設定することを追記しました。	NS2-添1-029(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-1-7-別添4ブローアウトパネル関連設備の設計方針)」P.43	
24	2022/1/25	NS2-添1-029(比)	比較表(VI-1-1-7-別添4)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-1-7-別添4ブローアウトパネル関連設備の設計方針)	P.43	BOP強制開放装置の構造図について、補足説明資料を参考に記載を検討すること。	今回回答	強制開放装置の概要を表7-9として追記しました。	NS2-添1-029改01「VI-1-1-7-別添4ブローアウトパネル関連設備の設計方針」P.36, 37	
25	2022/1/25	NS2-補-020 改01	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.6	MSトンネル室BOPの内外差圧について、設計下限の記載要否を検討すること。	今回回答	MSトンネルBOPの要求事項(1)開放機能については、原子炉格納容器等を防護する機能を記載しているため、上限側の設計圧力のみ該当することから、下限側の設計圧力は記載しておりません。(資料の修正なし)	-	
26	2022/1/25	NS2-添1-029	施設共通説明書(VI-1-1-7-別添4)	VI-1-1-7-別添4ブローアウトパネル関連設備の設計方針	P.27	表7-2について、各No.におけるBOP個数を踏まえて記載を検討すること。	今回回答	表7-2へ設置箇所単位のBOP個数(枚数)を追記しました。	NS2-添1-029改01「VI-1-1-7-別添4ブローアウトパネル関連設備の設計方針」P.27	
27	2022/1/25	NS2-補-020 改01	補足説明資料	工事計画に係る説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.38	図2-1における矢印の意味について記載を検討すること。	今回回答	補足説明資料4-6「クリップ破損時の他設備への影響について」2.項にクリップ脱落による落下影響範囲の考え方について追記しました。	NS2-補-020改04「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」資料No.4のP.4-6-1(通し頁P.39)	
28	2022/1/25	NS2-補-020 改01	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.134	テンションリングの記載について、先行プラントの記載を確認し、記載要否を検討すること。	今回回答	補足説明資料4-21「ブローアウトパネル関連設備の先行電力との差異について」の3.項および3.1(4)項について、テンションリングに関する記載は不要であることを確認し、記載を修正しました。	NS2-補-020改04「工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)」資料No.4のP.4-21-2, 3(通し頁P.135,136)	

島根原子力発電所第2号機 工認記載適正化箇所(ブローアウトパネル関連設備の設計方針)

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
1	NS2-添1-029	VI-1-1-7-別添4 ブローアウトパネル関連設備の設計方針	P.2	(4)建物開口部竜巻防護対策設備(竜巻防護ネット)に以下を追加適正化しました。 「なお、建物開口部竜巻防護対策設備(竜巻防護ネット)の設計については、添付資料「VI-1-1-3-1 発電用原子炉施設に対する自然事象等による損傷の防止に関する説明書」のうち「VI-1-1-3-1-1 発電用原子炉施設に対する自然事象等による損傷の防止に関する基本方針」に基づき実施する。」	2022/1/20	
2	NS2-添1-029	VI-1-1-7-別添4 ブローアウトパネル関連設備の設計方針	P.4	下記のとおり表現を適正化しました。 (新)オペフロBOPは弾性設計用地震動Sdを超える地震で開放すること～ (旧)オペフロBOPは弾性設計用地震動Sd以上の地震で開放すること～	2022/1/20	
3	NS2-添1-029	VI-1-1-7-別添4 ブローアウトパネル関連設備の設計方針	P.4	(3) オペフロBOP強制開放装置(自主対策設備)への要求事項に以下を追加適正化しました。 「なお、強制開放装置は自主対策設備として、原子炉建物原子炉棟からの水素排出を目的に設置されている。」	2022/1/20	
4	NS2-添1-029	VI-1-1-7-別添4 ブローアウトパネル関連設備の設計方針	P.11	5.1 要求機能に以下を追加適正化しました。 「また、オペフロBOP強制開放装置は、地震時において他設備へ波及的影響を及ぼさないことが要求される。」	2022/1/20	
5	NS2-添1-029	VI-1-1-7-別添4 ブローアウトパネル関連設備の設計方針	P.16 P.17 P.18	MSTンネル室BOP詳細設計条件となる基準地震動Ssによる地震荷重については、剛構造設備に適用する最大応答加速度に基づいて設定した地震力の値を記載していましたが、ラプチャーパネルは固有振動数20Hzを下回る柔構造設備であることから、床応答スペクトルに基づいて設定した地震力の値とするのが適切なため、値を修正し適正化しました。 (新)0.133kN/m ² (旧)0.0062kN/m ²	2022/1/20	
6	NS2-添1-029	VI-1-1-7-別添4 ブローアウトパネル関連設備の設計方針	P.18	(2) a. 設計方針に、以下を追加適正化しました。 「なお、現場操作時にBOP閉止装置にアクセスできるよう足場を設ける。」	2022/1/20	
7	NS2-添1-029	VI-1-1-7-別添4 ブローアウトパネル関連設備の設計方針	P.19	(2) b. 詳細設計に、以下を追加適正化しました。 「足場については、BOP閉止装置の機能に直接関連するものではなく、現場操作時にBOP閉止装置にアクセスするための付帯的な設備として設置する。足場は、基準地震動Ssに対して、十分な構造強度を有する設計とし、BOP閉止装置及びオペフロBOPの機能に悪影響を及ぼさない設計とする。」	2022/1/20	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
8	NS2-添1-029	VI-1-1-7-別添4 ブローアウトパネル関連設備の設計方針	P.30	BOP閉止装置の単位標記が混在していたため適正化しました。 (新)台 (旧)個	2022/1/20	
9	NS2-添1-029	VI-1-1-7-別添4 ブローアウトパネル関連設備の設計方針	P.33	「表7-4 BOP閉止装置加振試験時の加振加速度の測定結果」について、加振実績加速度と模擬波加速度の比較を加振実績震度と設計用震度の比較に変更し、記載を適正化しました。加振試験用の模擬地震波は、設計用震度を包絡するよう設定しており、震度の大小関係は、加振実績>模擬地震波>設計用震度となっています。加振試験の妥当性は、加振実績が設計上必要な加速度、すなわち設計用震度を超えていることを確認することにより示されるため、適正化を実施しました。	2022/1/20	
10	NS2-添1-029	VI-1-1-7-別添4 ブローアウトパネル関連設備の設計方針	P.35	7.3.4 オペフロBOP強制開放装置(自主対策設備)の記載を適正化しました。 (新)ワイヤーロープとオペフロBOPを接続し、 (旧)ワイヤーロープをオペフロBOPへ取付け、	2022/1/20	
11	NS2-添1-029 改01	VI-1-1-7-別添4 ブローアウトパネル関連設備の設計方針	目次	資料修正に伴いページ番号を変更しました。	2022/2/16	
12	NS2-添1-029 改01	VI-1-1-7-別添4 ブローアウトパネル関連設備の設計方針	P.31	「(b) 詳細設計」のうち以下の記載を追加しました。(下線部参照) (旧)電動及び手動による開閉動作試験を実施した。 (新)電動及び手動による羽根の開閉動作試験を実施した。	2022/2/16	
13	NS2-添1-029 改01	VI-1-1-7-別添4 ブローアウトパネル関連設備の設計方針	P.36	「b. BOP閉止装置構造強度」のうち以下の記載を追加しました。(下線部参照) (旧)また、「a. 機能維持」で記載した加振試験により、 (新)また、「a. 機能維持」で記載した加振台を用いた加振試験により、	2022/2/16	
14	NS2-添1-029 改01(比)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-1-7-別添4 ブローアウトパネル関連設備の設計方針)	P.2	明確化のため資料名称を追加しました。	2022/2/16	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
15	NS2-補-020 改04	工事計画に係る補足説明資料(安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書)	P.58	<p>「(2) 測定方法」のうち図の引用を修正及び削除しました。(下線部参照)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修正 (旧)機器構成を図4-7に示す。 (新)機器構成を図4-6に示す。 ・削除 (旧)計測機器等仕様を表4-5に「計測システム構成を図4-6に示す」。 (新)計測機器等仕様を表4-5に示す。 	2022/2/16	